

職業実践専門課程の基本情報

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
ソーシャルワーク専門学校	1993/3/1	諸見里 安知	〒901-2304 沖縄県中頭郡北中城村字屋原212-1 (電話) 098-933-8788																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人大庭学園	1968/1/23	大庭 憲	〒900-0033 沖縄県那覇市久米1-5-17 (電話) 098-988-0238																			
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士																		
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	こども未来学科	平成7年文部科学省告示第84号	—																		
学科の目的	本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、児童憲章・社会福祉事業の理念に基づき、保育士、幼稚園教諭として必要な知識、技術を教授し、子どもを育てることのみならず保護者とともに育ちあい、地域に即した子育て環境を支える福祉人材の育成を目的とする。																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	110単位	37単位	58単位	10単位	0単位	5単位															
	昼間	単位																				
生徒総定員	生徒実員	留学生	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
140人	88人	0人	6人	38人	44人																	
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日	成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 科目試験を実施し、100点法で行い60点以上を合格、優(80点以上)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)																			
長期休み	■学年始: 4月1日～4月5日 ■夏季: 8月21日～9月30日 ■冬季: 12月26日～1月5日 ■学年末: 3月28日～3月31日	卒業・進級条件	本校が指定した1,700時間(121単位)以上の科目を履修かつ厚生労働大臣の定める授業科目及び単位を修得すること。																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 クラス担任から保護者への連絡、保護者を交えての三者面談を行う。	課外活動	■課外活動の種類 新入生歓迎球技大会、福祉と平和学習、沖縄県専修学校各種学校体育大会、学校祭、新春もちつき大会、介護の日啓発活動、ボランティア活動 ■サークル活動: 無																			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 認可保育園、公立・私立幼稚園、児童養護施設等 ■個別相談 就職活動の基本知識から、面接などの具体的な指導に加え、資格が活かせるガイダンスを実施しています。 学生の進路希望を教職員で共有しサポートしている。 ■卒業者数: 53人 ■就職希望者数: 53人 ■就職者数: 53人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他 進学者数: 0人 (令和2年度卒業者に関する 令和3年5月1日時点の情報)	主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士</td> <td>①</td> <td>53</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教諭二種</td> <td>①</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>社会福祉主事</td> <td>①</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するかを記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの。 ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの。 ③その他(民間検定等)。 ■自由記述欄				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	保育士	①	53	53	幼稚園教諭二種	①	35	35	社会福祉主事	①	35	35
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																			
保育士	①	53	53																			
幼稚園教諭二種	①	35	35																			
社会福祉主事	①	35	35																			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 令和2年5月1日時点において、在学者105名 ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 クラス担任から保護者への連絡、保護者を交えての三者面談を行う。	■中退率	1.9%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金 授業料等免除制度: 有 ※有の場合は、制度の内容記入 学校から1名を採用し学習支援金として年額200,000円を給付 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 前年度給付対象者なし																					
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等が第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載																					
当該学科の ホームページ	http://www.ooba-gakuen.ac.jp																					

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・大庭学園の建学の精神である「心は豊かに 技は確かに」を教育理念に福祉人材の育成を目指す。
- ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点から関連分野と連携して、カリキュラムや教育方法の工夫を実施する。
- ・実践的な専門職業教育を行う教育機関として、関係業界等において必要な人材育成を実現する。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行ない、教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。以下同じ。)に活かすことを目的に設置するもの

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
諸見里 安知	ソーシャルワーク専門学校 校長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
大庭 荒	ソーシャルワーク専門学校 副校長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
仲間 明	沖縄県私立保育園連盟 青年会議 副会長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	①
渡慶次 直人	有限会社ケアセンターきらめき 事務局長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	③
天願 順優	コスモストーリー保育園 園長	令和3年4月1日～令和4年3月31日	③
比嘉 良洋	ソーシャルワーク専門学校 専任教員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
金城 桂子	ソーシャルワーク専門学校 専任教員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
大城 了子	ソーシャルワーク専門学校 専任教員	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
渡久地 美登子	ソーシャルワーク専門学校	令和3年4月1日～令和4年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年間2回開催、委員による演習授業の参画授業を年1回実施している。

(開催日時)

- 第1回 令和3年7月17日実施
- 第2回 令和4年1月実施予定

(参画授業の日時)

- 第1回 令和3年12月実施予定

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・コロナ過でどのようにして学生を実習に送りだせるのか委員と意見交換を行い、その中で実習前に実施するPCR検査を行政で補助が出来ないか意見があがったので委員を通して検討を依頼した。
- ・保育実践演習では、保育園とともに障害児(者)の施設実習の必要性について学生の理解をいかに進めるかを教育課程編成委員会で協議を行い、学生の理解が進むよう教育内容・方法に工夫を加えた。
- ・保育実習Ⅰでは、保育所理解の方法、乳幼児との関わりについて実習指導者との連携の下、事前学習に力を入れる等、教育内容・方法の改善を行った。
- ・保育実習事後指導Ⅰでは、企業等委員から「参画授業」内において、家庭支援の重要性、保護者を理解することの重要性について学生へ問いかけていただくとともに、今後、企業等委員との連携授業を実習前後の1週間以内で行うこと、教育内容においても上記の内容を教育内容に盛り込むことを実践し、教育内容の工夫、改善を行った。教育課程編成委員会でもその重要性について振り返った。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携のもとで、保育士、幼稚園教諭等の福祉業界における人材の専門性に関する動向、新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能など十分に分析、協議した上で実習・演習科目の教育課程の内容、指導の在り方について助言を受けたものを教育課程編成時に活用していく。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

認可保育園、公立・私立幼稚園、児童養護施設等へ実習受入を依頼し、保育士及び幼稚園教諭になるための必要となる実践的かつ専門的な能力を育成するため、各施設と連携して実習・演習等を行っていくものとする。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
保育実践演習	保育者として、必要な知識・技術をさらに高め、保育実習への期待や意欲を養う。	沖縄県私立保育園連盟 ケアセンターきらめき
保育実習事後指導Ⅰ	保育実習Ⅰ(保育所およびその他の児童福祉施設等)についての事後指導を行う。事後指導として実習を総括し、自己評価と発展的課題について学ぶ。	沖縄県私立保育園連盟 ケアセンターきらめき
保育実習Ⅰ	保育所及び保育所以外の児童福祉施設の生活に参加し、保育所の内容、機能等を学ぶ。また、実践現場での体験を通して、保育士としての職業倫理とこどもの最善の利益の具体化について学ぶことにより、こどもと保育士の役割についての理解を深める。	かなな保育園、いとし子保育園 若松保育園、のびのび保育園 ケアセンターきらめき つなぐ保育園等

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

専攻分野における保育士養成、幼稚園教諭養成に即した教育活動を実践するため、関連する機関と連携して実務に関する知識、技術、技能の修得及び教員個々の教育活動上の役割を考慮し、指導スキルの向上を目的とした組織的かつ計画的な学校法人大庭学園教職員研修規定に基づき研修、研究を実施、実践する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

1) 令和2年度全国保育士養成セミナー 研修期間:令和2年9月18日～19日 対象教員:比嘉良洋 連携先:一般社団法人全国保育士養成協議会
※研修等の内容と当該こども未来学科における教育内容の関係性について:

・研修内容が、全国保育士養成協議会主催の研修会となっており、厚生労働省の講演「保育行政の動向と課題」、特別公演「人に寄り添う革新的サイバニクス最前線」、研究報告、基調講演「新保育の心もち:育ち合う保育者を支えるために」の内容で当該こども未来学科の専任教員の研修として受講いたしました。今回学んだことを授業の中で学生への還元、専任教員で情報共有をして教育内容の向上に努めます。

② 指導力の修得・向上のための研修等

・学園内の組織的に位置づけられた研修①:

・対象:教職員全員 内容:感染予防 研修期日:10月20日

・福祉専門教育を提供する組織の一員として、「【Withコロナ・Afterコロナ】変わりゆく社会情勢の中で新しい生活様式・働き方を模索し考える」をテーマに外部講師の講義を受けて感染症対策について学びました。学んだ内容を生かしてコロナ過で学校運営が継続できるよう実践します。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

保育士養成協議会主催の全国研修会、九州ブロック研修会への参加、沖縄県専修学校各種学校協会研修会への参加し、教職員自身の研鑽につながる研修への参加を促していく計画を策定している。

② 指導力の修得・向上のための研修等

1) 令和3年度全国保育士養成セミナー 研修期間:9/16 研修テーマ:「保育者養成校の存在意義を問う」 対象教員:3名参加 主催:全国保育士養成協議会

研修内容が、研修内容が、シンポジウム「保育現場との実質的な協働をめざすための保育者養成校の倫理とは」、分科会、報告会、プラスワンセミナーを予定

■学園内の組織的に位置づけられた研修①:

・対象:教職員全員、内容:新しい生活様式・働き方を模索する。 研修期日:9月4日【緊急事態宣言発令中のため延期】

・福祉専門教育を提供する組織の一員として、専門教科のみならず1教職員としての学生対応向上の必要性から、学生支援力向上研修を計画してい

* 研修等に係る諸規程

* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)

* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価報告書、学校側の改善策・方法及び学生評価を踏まえ、学校関係者委員の多様な知見や経験から率直かつ的確な検証・評価を助言としていただき、学校側の理解も深めつつ、今後実践すべき改善策の具体的方法を協議する場とする。委員のご指摘から、自己評価の客観性、透明性をさらに深め、適宜改善した内容について各委員に報告することで、改善策等の効果を高めていくことを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・育成する人材像
(2) 学校運営	教育の内容
(3) 教育活動	教育の実施体制
(4) 学修成果	教育理念の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	社会的活動
(7) 学生の受入れ募集	運営管理
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	改革・改善
(10) 社会貢献・地域貢献	—
(11) 国際交流	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価結果に基づき、学校側の改善策として非常勤講師の研修の在り方についての意見交換、助言をいただき、今後年度末に向けて新年度の新規の非常勤講師に向けた研修計画を立案、実施に向けて準備を進めていくものとする。さらに学生に向けて前期及び後期の成績証明の開示及び保護者対象の学習相談会を開催することで、家庭との連携をより一層深めていくことが提案されたため、次年度後期における実施に向けて、準備を進めている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
比嘉 暢哉	行政書士・社会福祉士	令和3年4月1日～令和4年3月31日	企業等委員
浜本 勝司	在校生 保護者代表	令和3年4月1日～令和4年3月31日	PTA
前外間 樹	卒業生	令和3年4月1日～令和4年3月31日	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他()) 公表時期: 令和3年9月10日

URL:<http://www.ooba-gakuen.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内の教職員による「自己点検・評価」を実施し、「自己点検・評価委員会」にて、点検・評価を実施いたしました。さらに学生による学校評価をも取りまとめたものを集計し、より客観性、透明性の高い情報が提供できるよう配慮いたしました。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学園(学校)の沿革、教育理念、学校の特色、校長挨拶、アクセス
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、取得を目指す資格・検定、卒業後の進路
(3) 教職員	教職員紹介
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、就職サポート
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、ボランティア活動
(6) 学生の生活支援	就職支援
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費サポート体制
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己点検・評価及び学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.ooba-gakuen.ac.jp>